

中学校技術・家庭科
第24回 全国中学生創造ものづくり教育フェア
生徒作品コンクール部門実施要項

- 1 目的 全国の中学生が、工夫・創造して製作した作品を展示し、生徒相互の「ものづくり」への意欲を高揚する。
- 2 日程 令和7年1月31日(金) 作品審査 2月1日(土) 結果発表
※2月1日(土)に作品展示を行います。
- 3 審査・展示会場 都立六郷工科高等学校
- 4 作品部門

I 部門 (授業内製作作品)

技術分野・家庭分野共に、総製作時間(設計・製作を含む)数の内、80%以上の時間が教科の授業中に創造製作した作品部門(総合的な学習の時間、放課後の活動、部活動、休み時間等は、教科の授業中の製作活動とみなさない。必修授業で製作した作品のみをI部門とする。

II 部門 (自主製作作品)

技術分野・家庭分野共に、技術・家庭科で学習した知識や技術を生かして製作した創造作品で、I部門(授業内製作作品)に該当しない部門(総合的な学習の時間、長期休業や放課後の活動、休み時間等で製作したもの)。

- 5 出品点数 各都道府県市(京都市・大阪市)技術・家庭科研究会から推薦された創造作品とする。
○技術分野・家庭分野、I部門・II部門合わせて、各都道府県市計6作品までとします。
※ 2人以上で製作した作品は、II部門のみの出展とする。また、技術分野1作品、家庭分野1作品までとします。
- 6 作品の大きさの制限
縦+横+高さ=160 cm以下 重量 25 kg以下
※ 制限を超えた作品については、審査対象外となります。
- 7 作品製作費の制限
I部門は、製作費が5,000円以下であること。
- 8 参加費用 参加費は無料。材料費等は自己負担とする。
- 9 応募資格 日本国内の中学校に、令和6年度在学している生徒が製作した作品であること。
- 10 審査について
今年度はWeb上での事前審査は行いません。各都道府県市から出品された全ての作品を令和7年1月31日(金)に審査します。審査結果を、令和7年2月1日(土)の午後7時頃までに、全日中Webに掲載いたします。作品の評価コメントは後日、全日中Webに掲載いたします。

全日本中学校技術・家庭科研究会Webページ <http://www.ajgika.ne.jp/>

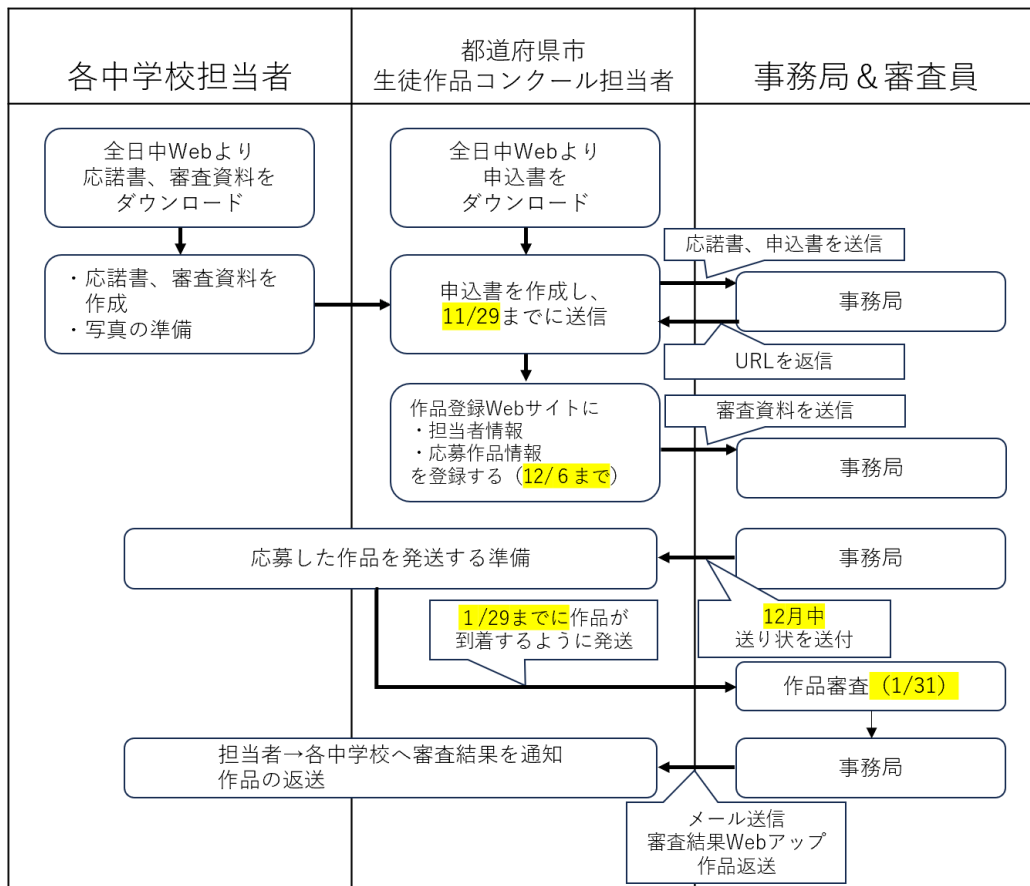
- 11 審査基準について
 - (1) 基本的性格
技術・家庭科の教科目標である、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、新しいアイデアに優れるとともに、その製作過程において、優れた技能を発揮した作品に対し授与する。
 - (2) 部門別審査基準
I部門：問題解決の過程を重視する。
II部門：創造性や技能(正確性)を重視する。

12 表彰について

表彰式は行いません。最終審査結果に基づき、各都道府県市の担当者または学校へ賞状を送付いたします。

13 応募方法、審査までの流れについて

各都道府県市(京都市・大阪市)技術・家庭科研究会が推薦→全国へ



(補足)

- 各中学校の担当者は、応諾書と写真データ（作品全体1枚とアピールできるポイント2枚：計3枚、写真の向きは横向きが望ましい）、審査資料を各都道府県市担当者へ送付する。
- 各都道府県市(京都市・大阪市)の作品コンクール担当者は、**11月29日(金)まで**に生徒作品コンクール事務局に**申込書(エクセルファイル)と応諾書(PDFファイル)**をメールにて送付する。(申込が完了した都道府県市には、作品登録WebサイトURLを送付します。)※1
- 各都道府県市(京都市・大阪市)の作品コンクール担当者は、**12月6日(金)まで**に作品登録Webサイトに応募作品の写真(3枚まで：1枚の容量を200KB前後とする)をアップロードする。審査資料(PDF)は、事務局(fea-seitosakuhin@outlook.jp)にメールで送る。※2
- 応諾書の原本(応諾書用紙)は各都道府県市(京都市・大阪市)の作品コンクール担当者が保管する。
- ※1 申込メールを送ったにも関わらず、12月4日までに返信がない場合はご連絡ください。
- ※2 各都道府県市(京都市・大阪市)予選の日程等の関係で締切日に間に合わない場合は必ず11月29日(金)までに連絡をしてください。事前連絡が無い場合、締切日を過ぎての申し込みは受け付けできません。

14 各賞について

	技術分野		家庭分野		合計
	I部門	II部門	I部門	II部門	
文部科学大臣賞(申請中)		○		○	2
厚生労働大臣賞(申請中)		○		○	2
林野庁長官賞(申請中)	○	○	×	×	2
特許庁長官賞(申請中)		○		○	2
(公財)つくば科学万博記念財団理事長賞	○	○	○	○	4

全日本中学校技術・家庭科研究会長賞	○	○	○	○	4
(公社) 全国中学校産業教育教材振興協会長賞	○	○	○	○	4
(一社) 日本産業技術教育学会長賞	○	○	×	×	2
日本家庭科教育学会長賞	×	×	○	○	2
全国市町村教育委員会連合会長賞	○	○	○	○	4
(公社) 全国工業高等学校長協会理事長賞	○	○	○	○	4
全国農業高等学校長協会賞	○	○	○	○	4
(一社) 日本家政学会被服構成部会奨励賞	×	×	○	○	2
日本教育新聞社賞	○	○	○	○	4
全国家庭科教育協会長賞	×	×	○	○	2
優秀賞	○	○	○	○	全作品

15 審査員について (未定)

重要事項【補足】

各都道府県市（京都市・大阪市）の担当の先生方へ

全国中学生創造ものづくり教育フェア生徒作品コンクール部門への出品及びご協力に感謝申し上げます。さて、毎年出品や審査等で課題となる点を補足説明としてまとめました。出品前にご確認していただきますようお願い致します。また、作品登録Webサイトに担当者情報として登録して頂いたメールアドレスに下記メールアドレスより、連絡します。ご確認をお願いします。

【4 作品部門】について

- 特別支援学校・学級の生徒については、Ⅱ部門（自主製作作品）のみとする。
- 著作権、知的財産権に配慮をした作品であること。

作品に関しては全日中HP等で公開されますので、各都道府県市研究会からの推薦の際に十分気をつけてください。キャラクターの入った作品は出品されないようお願いいたします。

(例 ディズニー、はらぺこあおむし 等)

【5 出品点数】について

- 各都道府県市で6点までの出展となります。(技術Ⅰ部門のみの6点や技術3点・家庭3点など、上限6点までであれば内訳は各都道府県市に一任します。複数人で製作したものは技術・家庭各1点までです(要項 5 出品点数 参考)。

【6 大きさ制限】について

- 家庭分野の衣類に関しても1着の重さは、作品規定を超えてはいけません。

【13 応募方法】について

- 作品申込書(エクセルファイル)と応諾書(PDFファイル)をデジタルデータで事務局まで申込みこととなります。応諾書原本に関しては各都道府県市の担当者が保管してください。不備があった場合は、フェア事務局から各都道府県市担当者に連絡することがあります。例年、職印・保護者印等の不備があります。その場合は、各都道府県市担当者が当該校に応諾書を返信し、改めて訂正したものを都道府県市担当者がPDFファイルで申込みをお願いします。

【全国生徒作品コンクール事務局 申込・問合せ先】

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町4-1684-2

桐生市立広沢中学校 教諭 柴崎 淳志(しばさき あつし)

学校電話 0277-52-7050 FAX 0277-52-7040

e-mail fea-seitosakuhin@outlook.jp

※問い合わせについても、なるべくメールにてお願いします。